

第5回「在宅医療推進フォーラム」高齢者の在宅医療～人生の終焉をどのように支えるか～

開催日時 平成 21 年 11 月 23 日 (月・祝) 9:55～17:15 (開場 9:30)

開催場所 東京ステーションコンファレンス 5F サピアホール (400 名)
(〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー)

プログラム

【第一部】

09:55～10:00 **開会の辞** 住野 勇 (財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 理事長)

10:00～10:15 **一般社団法人全国在宅療養支援診療所連絡会 活動報告会**

【座長】太田 秀樹 (全国在宅療養支援診療所連絡会 事務局長)

～一般社団法人全国在宅療養支援診療所連絡会 入会状況～

【報告者】太田 秀樹 (全国在宅療養支援診療所連絡会 事務局長)

10:15～11:15 **～在宅療養支援診療所を結ぶネットワーク活動 全国からの報告～**

【報告者】岐阜 (小笠原文雄 / 小笠原内科 院長)

高知 (壺井 康一 / ネクストホームクリニック 院長)

東京 (英 裕雄 / 新宿ヒロクリニック 院長)

栃木 (前原 操 / 前原医院 院長)

11:15～12:00 **パネルディスカッション「在宅療養支援診療所への期待と課題」**

【司会】太田 秀樹 (全国在宅療養支援診療所連絡会 事務局長)

【パネラー】小笠原文雄 (小笠原内科 院長)

壺井 康一 (ネクストホームクリニック 院長)

英 裕雄 (新宿ヒロクリニック 院長)

前原 操 (前原医院 院長)

12:00～13:00 休憩 (昼食)

プログラム

【第二部】

13:00～13:50 **在宅医療を推進する 11 団体の共同声明ならびに新加入団体の紹介**

【紹介者】石垣 泰則 (一般社団法人全国在宅療養支援診療所連絡会 副会長)

【紹介者】原 龍馬 (全国在宅歯科医療・口腔ケア連絡会 代表世話人)

【演者】和田 忠志 (医療法人財団千葉健愛会 理事長)

※「平成 21 年度在宅医療推進のための会」中間報告

【司会】田城 孝雄 (順天堂大学医学部公衆衛生学講座 准教授)

13:50～14:20 **基調講演「日本の医療制度改革がめざすものと在宅医療」**

【講師】辻 哲夫 (東京大学 高齢社会総合研究機構 教授)

【座長】黒岩 卓夫 (医療法人社団萌気会 理事長 / 一般社団法人全国在宅療養支援診療所連絡会 会長)

14:20～14:40 休憩

14:40～17:10 **シンポジウム「高齢者の在宅医療～人生の終焉をどのように支えるか～」**

【シンポジスト】佐々木 静枝 (社会福祉法人世田谷区社会福祉事業団 看護師)

高砂 裕子 (南区メディカルセンター訪問看護ステーション ケアマネジャー)

花形 哲夫 (花形歯科医院 院長)

平原 佐斗司 (東京ふれあい医療生活協同組合梶原診療所 在宅サポートセンター長)

宮島 俊彦 (厚生労働省 老健局長)

【座長】鈴木 央 (鈴木内科医院 副院長 / 一般社団法人全国在宅療養支援診療所連絡会 副会長)

17:10～17:15 **閉会の辞** 大島 伸一 (国立長寿医療センター 総長)

主催: 国立長寿医療センター、財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

共催: 一般社団法人全国在宅療養支援診療所連絡会、NPO 法人在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク、NPO 法人日本家庭医療学会、NPO 法人日本ホスピス緩和ケア協会、NPO 法人日本ホスピス・在宅ケア研究会、社団法人全国国民健康保険診療施設協議会、全国在宅歯科医療・口腔ケア連絡会、日本在宅医学会、日本在宅医療学会、日本在宅ケア学会、日本プライマリ・ケア学会

協力: NPO 法人全国在宅医療推進協会

後援: 全国訪問看護事業協会、長寿科学振興財団、日本医師会、日本看護協会、日本歯科医師会、日本訪問看護振興財団、

日本薬剤師会、日本老年医学会

(50 音順・敬称略)

在宅医療推進のための共同声明

2009年11月23日

一般社団法人 全国在宅療養支援診療所連絡会
NPO法人 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク
NPO法人 日本家庭医療学会
NPO法人 日本ホスピス緩和ケア協会
NPO法人 日本ホスピス・在宅ケア研究会
社団法人 全国国民健康保険診療施設協議会
全国在宅歯科医療・口腔ケア連絡会
日本在宅医学会
日本在宅医療学会
日本在宅ケア学会
日本プライマリ・ケア学会 (50音順)

1. 市民とともに、地域に根ざしたコミュニティケアを実践する。
2. 医療の原点を見据え、本来あるべき生活と人間の尊厳を大切にした医療を目指す。
3. 医療・福祉・介護専門職の協力と連携によるチームケアを追求する。
4. 病院から在宅へ、切れ目のない医療提供体制を構築する。
5. 療養者や家族の人生により添うことのできるスキルとマインドをもった、在宅医療を支える専門職を積極的に養成する。
6. 日本に在宅医療を普及させるために協力する。
7. 毎年11月23日を「在宅医療の日」とし、在宅医療をさらに推進するためのフォーラムを開催する。

第5回

在宅医療推進フォーラム

高齢者の在宅医療

～人生の終焉をどのように支えるか～

2009年11月23日(在宅医療の日)

東京ステーションコンファレンス (5Fサピアホール)

主催：国立長寿医療センター、財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

共催：一般社団法人全国在宅療養支援診療所連絡会

NPO法人 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク

NPO法人 日本家庭医療学会

NPO法人 日本ホスピス緩和ケア協会

NPO法人 日本ホスピス・在宅ケア研究会

社団法人 全国国民健康保険診療施設協議会

全国在宅歯科医療・口腔ケア連絡会

日本在宅医学会、日本在宅医療学会

日本在宅ケア学会、日本プライマリ・ケア学会

協力：NPO法人 全国在宅医療推進協会

後援：全国訪問看護事業協会、長寿科学振興財団、日本医師会、

日本看護協会、日本歯科医師会、日本訪問看護振興財団、

日本薬剤師会、日本老年医学会 (50音順・敬称略)